SDGs新聞	アスクル株式会社
捨てられる商品を減らそう！	

SDGsラジオを読んでみよう！

「アウトレット」という言葉を聞いたことはありますか？
アウトレットとは、キズがついていたり、売れのこった商品を安く売ることです。服やくつなどで見たことがある人もいますよね。
でも、そこでも売られなかった商品は、まだ使えるのに捨てられることも多いのです。
化粧品や洗剤など、毎日のくらしに使えるものまで、たくさん捨てられてしまっていました。
そこに注目したのが、いろんな商品をネットで売っている会社「アスクル」です。
アスクルは2019年から、捨てられる商品を減らすために、
アウトレットで売られないような商品をつくっている会社といっしょに、安く売ることにしました。
そのプロジェクトを「GO Ethical（ゴーエシカル）」といいます。
この取り組みで、2025年9月の時点で、約262万個もの商品が販売されたんですよ。
みなさんのまわりにも、アウトレットの商品があるかもしれませんよ。さがしてみてくださいね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！

画像参照：「Go Ethical」イメージ（アスクル公式HPより）

画像参照：「Go Ethical」の流れ（アスクル公式HP より）

文房具などいろいろな商品をネットで売っている会社「アスクル」では以前から、売れ残ってしまったり、箱やパッケージにキズがついてしまった商品を「アウトレット」として売っていました。でも、中身は一緒なのに、パッケージのデザインが新しいものに変わったなどの理由で、お店で売られずに捨てられてしまう商品もたくさんあり、大きな問題になっていました。そこでアスクルは、まだ使えるのに捨てられてしまう商品を減らすため、商品をつくっている会社と協力して、2019年から「Go Ethical」という取り組みをはじめました。

「Go Ethical」では、これまでアウトレットでも売られることがほとんどなかった、化粧品や洗剤などの毎日のくらしに使えるものを安く売って、捨てられてしまう商品の量を減らしています。この取り組みを通じて、2025年9月の時点で約262万個もの商品が売られました。また、「Go Ethical」では商品を買った人が、「その商品がどうしてアウトレットになったのか？」や「どれくらいの商品が捨てられずに済んだのか？」を知ることができて、自分の買い物が地球や社会にどのように役に立っているのかを感じとることができます。こうした取り組みが高く評価され、「Go Ethical」は「消費者庁長官表彰」を受賞しました。

キーワード

アウトレット

キズがついたり、売れ残ったりした商品を、もともと売られていた値段よりも安く売ることです。

Go Ethical

「捨てられるはずだった、でもまだ使える商品」を、安く提供して“ムダなゴミ”を減らそう、という取り組みです。「人や地球・環境・社会・地域を思いやる考え方や行動」です。

消費者庁長官表彰

日本の役所のひとつである「消費者庁」が毎年行っている、消費者（物を買ったり使ったりする人）との協力によって行われた優れた取り組みをした会社やお店を表彰するものです。

対象ゴール

みなさんにできること！

「アウトレット」に目を向けて、捨てられてしまう商品を減らすことに協力してみましょう。

おさらい

- 売れ残ったりキズがついた商品が、まだ使えるのに捨てられていた。
- アスクルは、捨てられる商品を減らすために「Go Ethical」という取り組みをはじめた。
- 「Go Ethical」では、2025年9月時点で約262万個の商品を販売している。

メモ

SDGsラジオ